

# 令和5年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

## 1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

## 2 期日・会場

令和5年10月6日（金） 県立進修館高等学校

## 3 参加対象校

- ・ 東部教育事務所管内公立中学校及び義務教育学校 93校
- ・ 管内市町に所在する県公立高等学校 39校

## 4 主な内容

### (1) 授業参観・施設見学

### (2) 全体会

- ・ 情報提供1 国の研修会参加者報告
- ・ 情報提供2 県立学校部高校教育指導課から  
「第33回埼玉県産業教育フェアについて」
- ・ 情報提供3 総務部学事課から  
「私立高等学校等における学費軽減の補助等について」
- ・ 情報提供4 市町村支援部義務教育指導課から  
「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題」  
「キャリア教育指導者養成研修の成果について」
- ・ 会場校の学校説明 県立進修館高等学校から

### (3) 分科会（グループ協議、指導助言）

#### 【協議題】

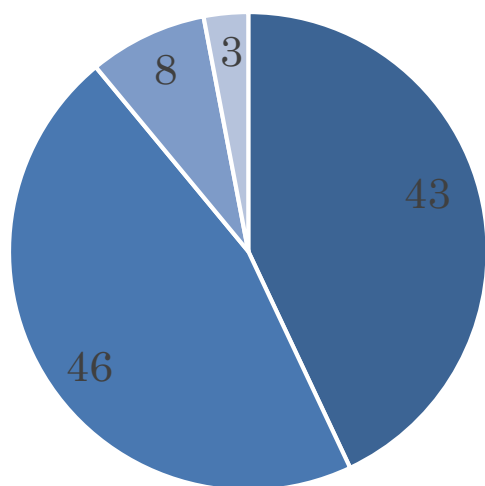
中学校・義務教育学校後期課程から高等学校への円滑な接続を目指す  
進路指導・キャリア教育の現状と課題

## 【協議の視点】

生徒にとっての魅力ある高等学校 ～中高連携について～

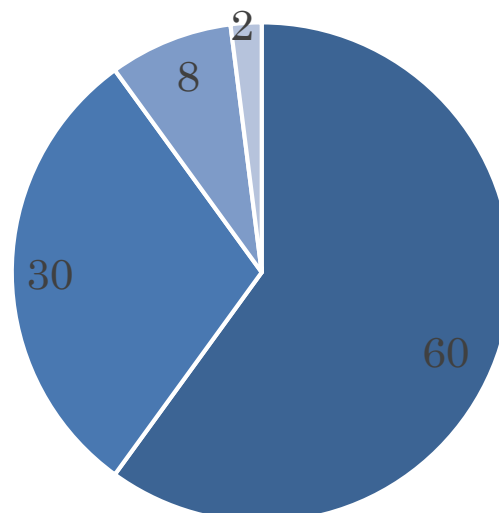
### 5 参加者の感想から

1 全体会の「情報提供」は学校での進路指導等に役立つものでしたか (%)



- 役立つ
- どちらかといえば役立つ
- どちらかといえば役立つたない
- 役立つたない

2 分科会の「研究協議」は、学校での進路指導等に役立つものでしたか (%)



- 役立つ
- どちらかといえば役立つ
- どちらかといえば役立つたない
- 役立つたない

#### 【成果】

- 分科会では高校の先生のお話、他の中学校の現状と課題を共有させていただき、大変有意義な時間だった。
- 分科会では高校の先生との意見交換ができ、有意義な時間をもてた。高校であっても、不登校になる生徒が一定数いることを知り、学習の意義について中学校でも意識して指導していきたいと改めて感じた。
- キャリア教育を充実させ、生徒の勤労観や職業感を高めていきたい。本年度から職場体験も再開するので、指導に活かしていきたい。
- キャリア・パスポートについて考える機会があまりないので、様々な事例を知れて勉強になった。
- 他校の進路指導の現状や、高等学校のお話を聞けて、大変参考になった。特に、キャリア・パスポートの活用について、自校の取り組みを見直さなければならないと強く感じた。
- 進路指導主事としての側面しか意識していなかったが、キャリア教育に関して改めて意識したり、実践や上級学校への繋がりなどを考えていく必要を更に感じた。
- 中学校の先生方から、「中学生が志望校を決めた最終的なものは、直接高校の説明会

に行った時の雰囲気、教員や高校生の様子で、決めている。」と伺い、参考になった。また、「本校の説明会に参加した上で選んでいる中学生が毎年いる。」と伺い、嬉しさと同時に、ますます頑張らなければと身が引き締まる思いである。

- 学校の特色等を理解し、授業参観や施設見学もでき、指導に関わる自分が勉強になった。分科会での話合いも充実した。
- 研修報告が今後の進路指導のためにとっても参考になった。
- 高校からの情報伝達手段として、SNSの利用も必要であると感じた。
- 高校側の生徒募集への苦労や、特色あるホームページ作成への努力を知ることができ、直面している生徒たちに伝えるべき貴重な意見交換をすることができた。
- 近隣の高校の先生から生の感想をいただくことで中高連携の具体策が見つかった。

#### 【課題・改善】

- 高校から参加する教員にとってもより有益な研究会になるよう、様々な専門学科を有する高校の現状を参観したい。
- 専門学科の高校の見学と、中高の先生方が話し合う機会は分けて、近隣で開催できれば、更に有意義である。
- 中高の情報交換は意義のあるものであるが、更に深めるためには、もう少し時間と班の人数が多い方がよい。
- 学校ごとに共通する課題があり、その解決に向けて努力はしているものの、答えが見出せないところも共通していた。様々な解決策を見出すためにも、機会を増やしての開催が望ましいと思った。
- 分科会の時間が長いほうがよいと思った。
- 高校向けの内容をもう少し聞けるとよかったが、分科会では中学校の進路指導が、高校に対してどういう考えをもっているか、知ることができ身の引き締まる思いだった。
- 高校側の生徒募集と、中学校側の進路指導との連携について、もう少し協議したかった。
- 高校と中学校の教員が直接話せる機会は少ないので、分科会の時間を増やして欲しい。
- 分科会是对面でこそ質が高まるため、分科会の時間が短くなってしまったことが少し残念であった。

## 6 専門学科のある高校について、知りたいこと

- 専門学科のある高校の特色。
- 具体的にどのような授業を行っているのか、卒業後の進路について。
- 就職先や進学先について詳しく知りたい。
- 入学後の生徒の様子や、専門学科で学んだことが進路選択につながるまでを詳しく知りたい。
- 総合学科について、単位の取得方法や進級の基準について詳しく知りたい。
- 専門学科に入学してくる生徒の何割ぐらいが、将来への明確なビジョンを持っているのか。

- 普通科を希望する生徒が多くなっている現状を踏まえ、専門学科の強みや魅力を聞きたい。
- 専門学科から大学に進学した生徒が、感じているプラス面やマイナス面について知りたい。
- 初めて高校の授業風景を見ることができた。そのため、興味深く授業参観や施設見学をすることができた。
- 普段見られない授業があって、面白かった。簿記や製図の授業が印象的だった。
- 中学校教員が高校の授業、特に専門学科を参観することは少ないので、機会が増えれば理解が深まると感じた。